令和7年度

教科・科目	家庭・生活産業基礎	単位数	2
-------	-----------	-----	---

シラバス

学年・クラス	2 学年 ( 必修 ・ 選択 )	担 当 者	神薗岳志
使用教科書	なし		
使用副教材	生活産業基礎 (実教出版)		

## 目 標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、衣食住、ヒューマン サービスなどに関する生活産業や関連する職業を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおりに育成す ることを目指す。

- (1) 生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
- (2) 生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力 を養う。
- (3) 生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指しながら学び、生活産業の振 興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## 授業の内容・進め方

授業内容: (1) 生活産業基礎を学ぶにあたって、(2) ライフスタイルの変化と生活産業、(3) ライフスタイルの 変化に対応した商品・サービスの提供、(4)生活産業と職業、(5)職業生活と自己実現、

進め方:調べ学習と実習を中心に進める。また必要に応じて発表やレポートを実施。

## 評価規準(観点別達成目標・評価項目)

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	し、関連する職業に関わる知識	等を通して、生活産業の意義や	生活産業に関連する職業の種類 や特徴について関心を持ち、主 体的に学習活動に取り組もうと している。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断	③主体的に学習に
	計伽のが脱点	①知咸•1又能	・表現	取り組む態度
評価	発表資料作成・発表 (題材ごと)	0	0	0
項	確認テスト (題材ごと適宜)	0	0	Δ
	授業への参加 (通年)	Δ	Δ	0

・観点別評価 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。

A: 十分満足できる B: おおむね満足できる C: 努力を要する

・評価・評定 観点別評価から総合的に成績 (評価・評定) を決定する。

## 年間指導計画及び中単元別評価基準

学				評価規準		
子期	月	単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に
//-				7.11.11.74	70. 7 1391 323	取り組む態度
前	4	「生活産業基礎」	1節 私たちの生	・近年の社会の変化と	・生活産業に関連する	・生活と産業を結びつけ
期		を学ぶ	活と「生活産業」	産業構造の変化に伴っ	調査等から情報を整理	て探求しようとしてい
			2節「生活産業」	て、働き方やライフス	したり、実習内容につ	る。
			のスペシャリスト	タイルが多様化してい	いて理解したりして、	
			になるために	ること、人々のニーズ	表現することができ	
				の変化を的確に捉えた	る。	
				商品・サービスが提供		
				されていることを理解		
				できる。		
	5	生活に対応した商	1節 消費者ニー	・消費者ニーズを把握	・論理的に調査方法を	・商品やサービスの企
		品・サービスの提	ズの把握	するための調査方法	選び、活用することが	画、開発から販売・提供
		供	2節 商品・サービ	や、結果の活用方法を	できる。	の仕組みを知り、具体的
	6		スの企画・開発及	知る。		に商品開発について探
			び販売・提供	・商品やサービスに関		求しようとしている。
			3節 関連法規	する法規を理解でき		
	7			る。		
		食生活関連分野の	1節 食生活の変	・外食・中食産業、食品	・現状の献立に課題を	<ul><li>様々な資格や職業につ</li></ul>
		産業と職業	化と生活産業のか	流通業の意義と役割を	持ち、その解決に向け	いて具体例を通して探
	8		かわり	理解できる。	て工夫することができ	求しようとしている。・
			2節 食生活関連		る。	消費者のニーズや消費
			産業の職業と資格			行動に対応した商品・メ
			◆メニュー開発			ニュー開発、販売やサー
	9		◆ふれあい交流事			ビスの方法について探
			業			求しようとしている。

774				評価規準		
学期	月	単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
後	10	衣生活関連分野の	1節 衣生活の変	・人々の意識の多様化	・衣服について考え、ま	・様々な資格や職業に
期		産業と職業	化と生活産業のか	により、ファッション	とめたり、発表したり	ついて具体例を通して
			かわり	が多様化していること	できる。	探求しようとしてい
			2節 衣生活関連	を理解できる。		る。
			産業の職業と資格			
	11	住生活関連分野の	1節 住生活の変	・住生活に関わる産業	<ul><li>各ライフステージに</li></ul>	・様々な資格や職業に
		産業と職業	化と生活産業との	の意義と役割を理解	応じた住居について考	ついて具体例を通して
			かかわ	し、人々がライフスタ	え、まとめたり、発表し	興味・関心を持とうと
			ŋ	イルや価値観に合った	たりできる。	している。
	12		2節 住生活産業	住居を求めていること	・動線を考えて平面図	・将来の住まい方につ
	14		の職業と資格	を具体的な事例を通し	を作成し、まとめたり	いて探求しようとして
			◆インテリアをコ	て理解できる。	発表したりすることが	いる。
			ーディネートして	・住宅の役割、住空間の	できる。	
			みよう	計画、住環境の整備に		
			防災学校との時期	ついて科学的に理解し		
	1		は離れるが、災害	ている。		
			時の家庭内事故を			
			防ぐ視点の検討も			
	2		入れる。			
		職業生活と自己実	1 節 職業生活と	・生活産業にかかわる	・見学や体験をとおし、	・生活産業のスペシャ
	3	現	生きがい	職業人に求められる資	事前に学んだことと結	リストとして働くこと
			2 節 将来の生活	質・能力について理解	びつけて表現すること	が自己実現につながっ
			と学業	できる。	ができる。	ていくことを理解し、
				・一次産業の役割につ		探求しようとしてい
				いて理解する。		る。